

| | | | | | |
|-------------|--|------|-----------|--------------------|--|
| 科目名 | リベラルアーツ基礎A | | | 授業コード | 30233 |
| 担当教員 | 渡辺 圭佑 | | | | |
| 学科学年 | E1 | 開講期間 | 2023年度 後期 | 授業形態 | 講義 |
| | | | | | 単位数 |
| 授業計画 | 第1回 ガイダンス データサイエンスとは 第2回 競技スポーツにおけるデータサイエンスの応用事例 第3回 身の回りのICTとデータサイエンスを探る 第4回 データ・人工知能の活用 第5回 健康とICT・データサイエンス 第6回 データリテラシー1 データの代表値 第7回 データリテラシー2 データの可視化 第8回 データリテラシー3 データの分析（相関、回帰、モデル化など） 第9回 データと倫理 第10回 データの落とし穴 第11回 データ・AI活用の最新動向 第12回 データ収集演習1 インターネット上からデータを収集する 第13回 データ収集演習2 収集したデータを可視化する 第14回 学期末演習 第15回 まとめ ※ 学期進行中に遠隔授業に切り替わった場合、授業計画については別途指示する | | | 授業概要 | リベラルアーツには、算術や幾何といった数値やデータを扱う分野が含まれます。この授業では、スポーツや健康および日常生活等におけるICTの活用を通じて、データサイエンスやそのリテラシーについて学びます。それに加え、基本的な統計の考え方や計算スキルを実習形式で学びます。 |
| | | | | 到達目標 | 1. 世の中の様々なデータに対し、「問い」を抱くことで、データサイエンスに興味・関心をもつ。 2. 一つのデータの表面的な部分だけではなく、その本質を理解することで、現代社会を「生きる」能力を養う。 3. “自身の専門分野” × “データサイエンス” から、受講生が新たな視点を「創る」ことを目指す。 |
| 評価方法・基準 | 確認テストと、課題レポートによって評価します（100%）。 ※ 3分2以上の出席がなかった場合や、期末レポートの提出がなかった場合は、履修放棄とみなされます。 | | | 準備学習（予習・復習等） | 1 週間に3時間程度の準備学習（予習・復習）が必要となる。 講義資料をもとに復習し、要点をまとめておくこと。次の講義の内容について、情報を集めて予習すること。範囲は授業時に説明する。 |
| 教科書1 | 適宜資料を配布します。 | | | 履修上の留意点 | パソコンを使用することがあります。 欠席した場合は、その授業内容について、オフィスアワーなどに質問してください。 毎回の授業に関する内容をノート等にまとめること。 |
| 著者名 | | | | | |
| 出版社 | 価格 | | | | |
| 教科書2 | | | | | |
| 著者名 | | | | | |
| 出版社 | 価格 | | | | |
| 教科書3 | | | | | |
| 著者名 | | | | | |
| 出版社 | 価格 | | | | |
| 参考となる書籍・URL | | | | ディプロマ・ポリシー（DP）との関連 | 大学DP 4 HP参照 { http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html } |
| 実務経験と授業との関連 | | | | 備考（ナンバリング等） | { https://www.mgu.ac.jp/main/campus/curriculum/index.html } |